

# 事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	無	電話	042(769)8282
担当部課名	管理部	学務	課	
事務事業名	中学校校舎等維持補修費		事業コード	14121

1 総合計画における位置づけ

政策名	第4章	人間性豊かな子どもを育成します	事業開始年度
基本施策名	第1節	ゆとりある学校教育の創造	~63
施策名	第2施策	小・中学校教育の充実	

2 実施根拠及び関連法令等

--

3 事業概要

(1) 事業の目的		(2) 対象(誰、何)	
各中学校において、日常的に発生する小破損修繕に対応するため、概ね200千円以下の施設修繕を学校長決裁により、執行するもの。		市立中学校	
		対象数	27校
(3) 平成13年度事業の内容		(4) 総合計画・実施計画における概要	
需用費(施設修繕料)	49,200,000円	なし	
建築後10年以内の学校及びH3年度以降大規模改修実施済校(20校)	7,000,000円 (1校あたり700,000円)		
その他の学校(17校)	18,700,000円 (1校あたり1,100,000円)	(5) 個別計画の概要	
施設修繕総件数	407件 (1校あたり 約15件)	計画名	
		計画年次	年度~ 年度

4 評価指標

指標名	施設修繕の達成率		
指標式	修繕終了件数 / 修繕予定件数 = 1		
指標設定の意図	再配当予算による施設修繕の達成割合を見る。		

5 目標と実績

[金額単位：千円]

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度
	実績	実績	実績	目標	目標
指標	100.0	100.0	a 100.0	b 100.0	100.0
指標			c	d	
指標			e	f	
事業費	決算(予算)額	21,800	24,900	25,700	25,700
	人員・時間数	(0.0人)	(0.0人)	(0.0人)	(0.0人)
	人件費	0	0	0	0
	その他経費				
	合計	21,800	24,900	25,700	25,700
特定財源	0	0	0	0	0

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか			
評価 A ▼	A : 達成している ( 100%)	= 、 、 の平均値 = 100.0%	
	B : 一部達成していない(100%> 80%)		
	C : 達成していない (80%> )		
$\frac{a}{b} \times 100 = \frac{100.0}{100.0} \times 100 = 100.0\%$	$\frac{c}{d} \times 100 =$	$\frac{e}{f} \times 100 =$	
理由 :	良好な学校教育現場の整備のためには是非必要な事業であり、今後も継続していかなければならない。特に再配当化による即応体制が確立されているのは有効である。		
(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か			
評価 A ▼	A : 適応している	理由 :	時代変化には適応しないが、必要性は十分にある。
	B : 一部適応していない		
	C : 適応していない		
(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か			
評価 A ▼	A : 妥当である	理由 :	必要最小限度の修繕を行い、良好な学習環境を維持することが図られている。
	B : 一部妥当でない		
	C : 妥当でない		
(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か			
評価 A ▼	A : 代替の可能性ない	理由 :	施設管理者が行うべきものであるため、代替の可能性はない。
	B : 代替の可能性低い		
	C : 代替の可能性高い		
(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか			
評価 A ▼	A : 満足できる	理由 :	良好な学習環境を維持することが図られている。
	B : 一部満足できない		
	C : 満足できない		
(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か			
評価 A ▼	A : 有効である	理由 :	施設面における学校教育環境の整備には有効である。
	B : 一部有効である		
	C : 有効でない		

<p>評価バランスチャート</p>	<p>成果向上の余地</p> <input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	<p>説明 :</p> 今後とも継続が必要となる。
	<p>コスト改善余地</p> <input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	<p>説明 :</p> 維持補修費の減額は難しい。

7 総合評価

評価	AAA ▼	他自治体の類似事業との比較	
今後の進め方		説明	各学校における校舎等の小破損修繕対象施設が年を経るごとに老朽化するので、それに対応した予算の増額や学校側での学校施設課との連携が必要となる。
<input checked="" type="checkbox"/>	継続		
<input type="checkbox"/>	見直し		
<input type="checkbox"/>	廃止		
<input type="checkbox"/>	完了		

8 二次評価における変更点

--